

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山之内芳雄	治療薬と他の身体的治療:こころの苦しみへの理解	竹島 正	トータルメンタルヘルスガイドブック	中央法規	東京	2018	337-354
西 大輔, 山之内芳雄	睡眠・ストレスマネジメント	門脇 孝・津下一代	第三期 特定検診・特定保健指導ガイド	南山堂	東京	2018	217-221
山之内芳雄	治療薬と他の身体的治療:こころの苦しみへの理解	竹島 正	トータルメンタルヘルスガイドブック	中央法規	東京	2018	337-354

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hatta K, Katayama S, Morikawa F, Imai A, Fujita K, Fujita A, Ishizuka T, Abe T, Sudo Y, Hashimoto K, Usui C, Nakamura H, Yamanouchi Y, Hirata T, for the JAST study group	A prospective naturalistic multicenter study on choice of parenteral medication in psychiatric emergency settings in Japan	Neuropsychopharmacology Reports	38(3)	117-123	2018
Fukasawa M, Miyake M, Suzuki Y, Fukuda Y, Yamanouchi Y	Relationship between the use of seclusion and mechanical restraint and the nurse-bed ratio in psychiatric wards in Japan	International Journal of Law and Psychiatry	60	57-63	2018
Nishi D, Susukida R, Usuda K, Mojtabai R, Yamanouchi Y	Trends in the prevalence of psychological distress and the use of mental health services from 2007 to 2016 in Japan	Journal of Affective Disorders	239(15)	208-213	2018
Shimosato S, Kinoshita A	Degree of Anger During Anger-Generating Situations Among Psychiatric Staff Nurses :Association Between Nurses' Attitudes Toward Service Users' Aggression and Confidence in Intervening in Aggressive Situations	Journal of Psychosocial Nursing and Mental Health Services	56 (9)	51-59	2018
山之内芳雄	新しい630調査と精神保健福祉資料	心と社会	173	67-72	2018

山之内芳雄, 西大輔, 吉田光爾	NDB (レセプト情報・特定健診等情報データベース)	精神科	33(3)	209-218	2018
山之内芳雄	新精神保健福祉資料を活かす - 地域の現状を把握	精神科病院マネジ	41	4-8	2018
山之内芳雄	行動制限と指定医と法制度	日本精神科病院協	37(12)	17-20	2018
来住由樹	地域医療構想で精神病院を活かそう-一般病院と精神病院の人材交流- 地域医療構想を踏まえた精神科病院の挑戦	日本病院会雑誌	66(1)	35-46	2018
来住由樹, 中島豊爾	平成30年度診療報酬改定を分析する平成30年度改定をふまえた救急医療戦略 岡山県精神科医療センターにおける取り組み	救急医学	12	1746-1751	2018
大石智, 宮岡等	【精神科医療提供体制の機能強化】 身体疾患を合併する精神疾患のある人に対する医療提供体制の構築	精神科	33巻3号	219-226	2018
木下 愛未, 下里誠二	精神科スタッフナースの怒り感情喚起場面での怒りに関与する要因の検討 - 認知傾向・感情・態度との関連-	看護科学研究	(17)	13-21	2019
北野 進 他	CVPPP は一般科医療に活かせるのか - 文献レビューから見えること-	精神科看護	5(45)	41-49	2018

(作成上の留意事項)

研究報告書（当該報告書に含まれる文献名等を含む。以下本留意事項において同じ。）は、国立国会図書館及び国立保健医療科学院ホームページにおいて公表されるものであること。

※規程19条第2項及び第3項に従い、事業完了後5年以内に、その結果又は経過の全部若しくは一部を刊行し、又は書籍、雑誌、新聞等に掲載した場合には、その刊行物又はその別刷一部を添えて厚生労働大臣等に届けること。

研究者等は当該報告書を提出した時点で、公表について承諾したものとすること。

その他

- (1) 手書きの場合は、楷書体で記入すること。
- (2) 氏名は、自署又は記名押印で記入すること。
- (3) 日本工業規格A列4番の用紙を用いること。各項目の記入量に応じて、適宜、欄を引き伸ばして差し支えない。